

林業普及指導員中国・四国ブロックシンポジウムで当署の取組を発表

平成 30 年 9 月 14 日
徳島森林管理署

徳島森林管理署では、9月13日香川県高松市で開催された、平成30年度林業普及指導員中国・四国ブロックシンポジウムにおいて、「民有林災害時における新たな民国連携・支援」と題して、当署の取組を発表しました。

このシンポジウムは、毎年度各県が持ち回りで開催しているのもので、今回は香川県で開催されました。今回のシンポジウムのテーマは、「地域の新たな課題に対応した指導普及の取組」で、各県が地域の様々な課題における取組について発表しました。



シンポジウムの様子

徳島森林管理署からは、今年7月のH30.7豪雨災に際し、当署が所有するドローンを民有林被災地で飛行させ、得られたデータに基づきオルソ画面を作成し、更にオルソ画面に地図データ(標高)を挿入したデータや画像を県や市町村に速やかに提供することで、県や市町村が短期間に行う災害発生時の初動活動を支援していることについて発表しました。



徳島署の発表

